



第28期 パラカ株式会社 報告書

2023年10月1日～2024年9月30日

Business Report 2024

株主の皆様へ



代表取締役執行役員社長
開発本部長

内藤 宗

代表取締役執行役員会長

内藤 亨

株主の皆様をはじめ関係者の方々には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第28期(2023年10月～2024年9月)は、当期純利益は新紙幣の対応費用により前期より微減(△1百万円)となったものの、その他業績については売上高163億円(+16億円)、営業利益30億円(+86百万円)、経常利益27億円(+64百万円)と、前期に引き続き過去最高の業績となりました。

大手デベロッパーや不動産仲介会社との業務提携を

活かし、商業施設等に付帯する大型駐車場案件の開拓活動を積極的に行った結果、新規開設件数、新規開設車室数、運営件数残高(2,449件)、運営車室数残高(40,431車室)いずれも過去最高となりました。

また、保有駐車場への投資も積極的に行い、第28期の投資額は過去最高の40億円となりました。中でも、大阪市のメインストリートである御堂筋至近の「高麗橋」や札幌市「すすきの駅前」等、一等地への投資も行うことができました。今後も保有駐車場を核として衛星的に賃借駐車場を拡大していく「不動の地域一番戦略」を一層推進してまいります。

伊藤忠商事との資本業務提携による相乗効果も高まっており、2024年10月末時点で98件1,419車室の駐車場が成約に至っております。伊藤忠商事の子会社であるファミリーマートの店舗駐車場管理業務の受託件数も増加している他、伊藤忠グループと共同での土地投資についても具体的な案件が進行しております。今後も、伊藤忠グループとの連携拡大を推し進めてまいります。

来期につきましては、当期以上に積極的な投資を行い、先述した大型案件や各エリアのランドマークとなるような駐車場を開拓していきたいと考えております。

「永遠のあと百年」という企業理念のもと、より良き環境・社会・企業を次世代そのまた次世代に引き継いでいくとともに、長期安定的な業績向上と事業構造の進化に努めてまいります。

今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



「ESG」から「ENSG」へ、そしてさらに「ENSGF」へ

ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の略で、投資活動や事業活動を行うにあたって配慮すべき項目とされています。当初は投資活動から始まった概念で「ESG投資」と呼ばれていましたが、昨今では「ESG経営」といわれるよう経営全般に対して配慮すべき概念となっています。

当社では、このESGの本質は「持続可能性の向上」と考え(2009年ビジネスレポート)、環境は「地球」の環境であり、ガバナンスは「企業」のガバナンスであることから、地球、社会、企業、それぞれの持続可能性の向上と捉えました。

このように捉えると、企業は社会に含まれ、社会は地球に含まれる(地球>社会>企業)という包摂関係が明らかになります。当然、EとSの間に国家(Nation)が足りないのが一目瞭然となります(地球>国家>社会>企業)。国家の存続なくして、下位階層にある社会や企業の存続もあり得ないからです。昨今の国家間の争いはそれを鮮明にしました。経営を行う際にも国家の持続可能性の向上に配慮が必要と考え、昨年の当コラムにおいてNを追加し、ENSGとした次第です。

しかしながら、さらにまだもう一つ足りないものがあります。それは、サステナビリティにおける最小の共同体である家族(Family)です。

今を生きる人間ひとりひとりが、過去の集積によって成り立っています。一人の個人には、必ず一人の父と一人の母があり、十代遡ればその合計は約千人、二十代では百万人、三十代で十億人、四十代で一兆人の父母が存在していましたことになります。逆に言えば、そのうち誰か一人で

も欠けてしまったら、今の自分という一個人は存在しないのです。

このように、人の肉体的な持続性は家族によって担われています。先人の努力によって今の私たちは生かされており、企業も社会も国家もその構成員である人によって成り立っています。日本はその結果、二千年という長い歴史をもつ「国家」を形成し、犯罪率の低さや街の清潔など世界でも稀有な「社会」を作り、金剛組に代表されるように圧倒的に長い歴史をもつ多くの「企業」のある国となつたのです。

人には寿命があり、一個人では肉体的に次世代でさえ持続することはできません。ただし、一個人であっても精神的なことであれば次世代、またその次世代に継承することが出来ます。「我が家では」「わが社では」「わが町では」「わが国では」というように、家訓や企業理念、郷土愛といった形で先人の想いは受け継がれ、次世代へと繋いできました。

当社ではFamilyを社員および社員を取り巻く環境全てと考え、企業理念の浸透や資産形成制度等により、人への投資を進めて参ります。

「私達が生きている今、
それは、祖先達が
命懸けで守ろうとした未来」



地球の
持続可能性の
向上



日本の
持続可能性の
向上



地域社会の
持続可能性の
向上



企業の
持続可能性の
向上



家族の
持続可能性の
向上



広島大学 大講堂のネーミングライツを取得

2024年5月、当社は広島大学東広島キャンパス経済学部講義棟「257講義室」の命名権者に選ばれ、「パラカ講堂257」と命名いたしました。広島大学は当社創業者である代表取締役会長 内藤亨の出身校です。命名権取得は大学や次世代を担う大学生への支援となり、また当社の認知度向上に繋がるものと考えています。

講堂前に飾られるインフォメーションボードは、広島を拠点に世界で活躍されているカミガキ ヒロフミ氏作成のもので、広島大学をはじめ、広島にある当社の研修施設や観光名所等、様々な要素が盛り込まれ、見るたびに新しい発見のあるデザインとなっています。



▲インフォメーションボード



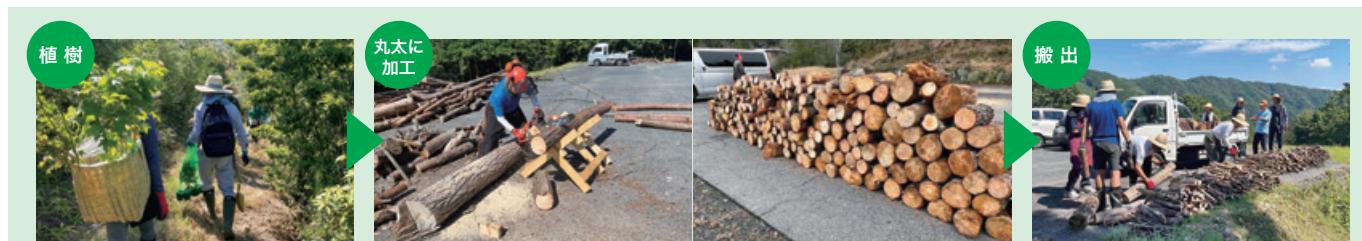
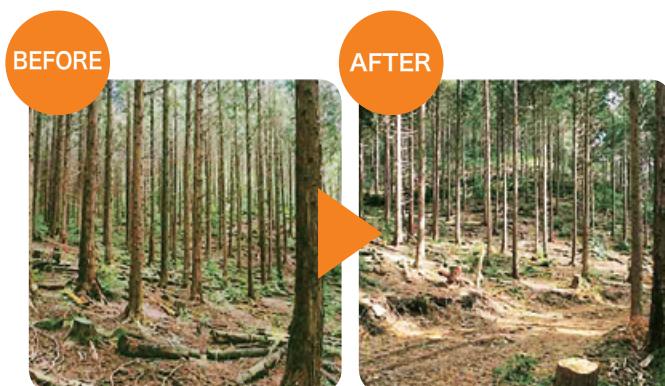
サインボード▶



森林保全活動

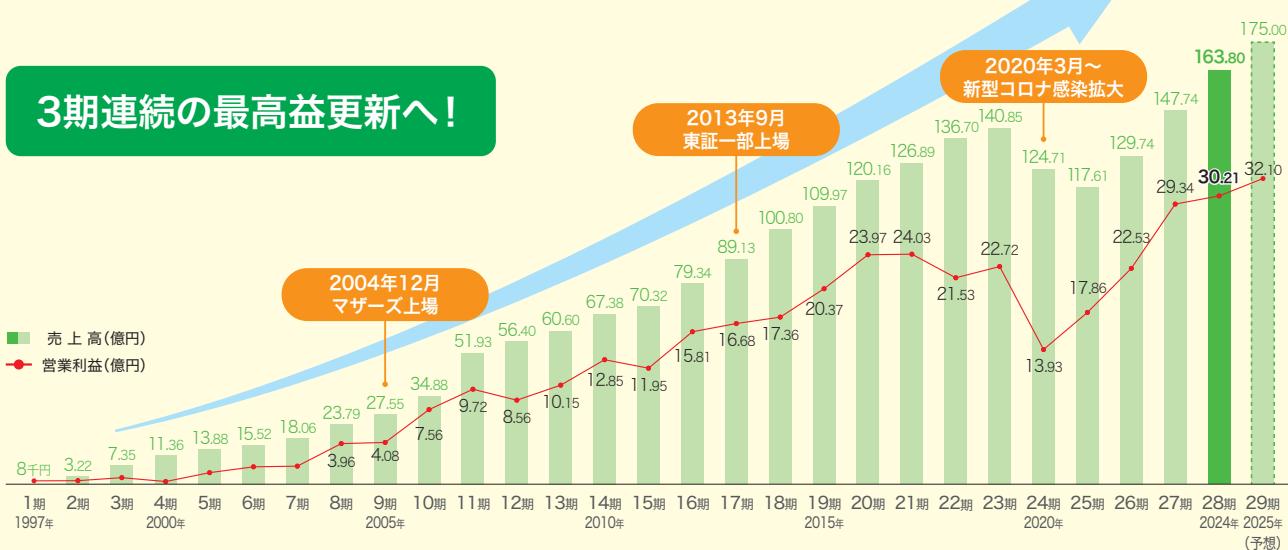
今年も「あと百年センター『遙古莊』(広島県安芸高田市)」にて社員研修を行い、植樹を中心に伐採や薪割り等、森林保全活動を行いました。

当社の森林保全活動は地元の安芸北森林組合と協力して行っており、当期は安芸高田市美土里町に保有する山林5haにおいて間伐を行いました。間伐を行うことで地表に光が届き、豊かな土壌を醸成することができるため、山林の公益的機能の維持に繋がります。



■売上高及び営業利益の推移

3期連続の最高益更新へ！



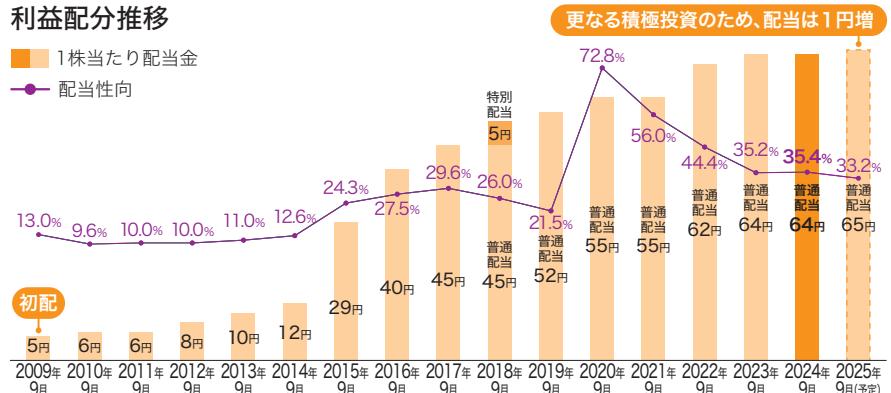
■配当

当社は「持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のために『資本効率』、『財務健全性』及び『投資環境』に応じて、再投資とのバランスをとりながら株主の皆様への利益配分を行うこと」を利益配分の基本方針としております。

この基本方針に基づき、2024年9月期の配当金は、1株につき64円とさせていただきました。

利益配分推移

■ 1株当たり配当金
■ 配当性向



■株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月末日

定期株主総会 每年12月開催

基準日 定時株主総会 每年9月30日

期末配当金 每年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

証券コード 4809

公告方法 電子公告により行います。
ホームページアドレスは次のとおりです。
<https://www.paraca.co.jp/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由
が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

◎株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

◎特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。上記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出が異なりますのでご留意ください。

◎特別口座に関するご照会先

(特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-232-711

